

1. 計画評価及び効果検証の目的

評価・検証を行うことで、PDCAサイクルを確立し、より効果的に第2期総合戦略を推進していくことを目的として実施します。

また、効果検証に際しては、庁内で評価を行うとともに、その妥当性・客観性を確保するため、産学官金労の各分野で構成される「小坂町振興計画審議会」で検証を行います。

2. 評価の対象

令和2年度で終了した第1期総合戦略の基本目標を達成するために行った、3つのプロジェクトについて総合的な評価・検証を行います。

3. 計画の評価方法について

(1) 庁内での評価

① 終了したプロジェクトの評価

ア 基本目標Ⅰ「まち」安全・安心な暮らし地域づくりプロジェクト（7事業）

イ 基本目標Ⅱ「ひと」移住定住促進プロジェクト（15事業）

ウ 基本目標Ⅲ「しごと」地元産業間の連携による地域活性化プロジェクト（12事業）

本計画終了後の報告書により、計画の効果を次のとおり評価します。

評価内容
A. 町のまち・ひと・しごと創生に対し、非常に効果的であった。 ※指標実績が目標値を上回ったなどの場合 概ね、総合評点 36～45点
B. 町のまち・ひと・しごと創生に対し、相当程度効果的であった。 ※指標実績が目標値を上回ることはなかったものの、目標値を相当程度（7～8割）達成したなどの場合 概ね、総合評点 26～35点
C. 町のまち・ひと・しごと創生に対し、効果的であった。 ※指標実績が目標値を上回ることはなかったものの、事業開始前より指標実績が改善したなどの場合 概ね、総合評点 16～25点
D. 町のまち・ひと・しごと創生に対し、効果的では無かった。 ※指標実績が事業実施前より悪化しているなどの場合 概ね、総合評点 6～15点
E. その他。 ※事業の実施状況により、評価が困難な場合 概ね、総合評点 5点以下

(2) 庁内での検証を踏まえ、外部組織の「小坂町振興計画審議会」にて評価・検証を行う。

次のとおり評価します。

評価内容
A 本計画は、町のまち・ひと・しごと創生に対し有効であった。
B 本計画は、町のまち・ひと・しごと創生に対し有効ではなかった。

なお、評価についての意見を付します。